

集団づくり

1. 研究課題

「集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくために、子どもたちの活動でどのような工夫が考えられるか」

2. 討議の柱

- (1) 児童会・生徒会・小中連携で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(小・中)
- (2) 学級や学年で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(小)
- (3) 学級や学年で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(中)
- (4) 集団と個人が相乗効果を得ながら向上していく集団活動の工夫(小・中)

3. 研究協議会時の交流体制および運営体制

※詳細は、石教研HPをご覧ください。

(1) 討議の方法

- ① 前半は、体育館や各教室で全体会(講演)を視聴していただきます。
- ② 後半は、実践交流を行います。

○第1・2・3分科会

10名程度のグループによるレポート交流

○第4分科会

10名程度のグループによるレポート・実践交流

【今年度のテーマ】

「コロナ禍でも実践できた楽しい活動」

(2) 分科会の構成

- 第1分科会 児童会・生徒会・小中連携【小学校・中学校】
- 第2分科会 学年学級経営【小学校】
- 第3分科会 学年学級経営【中学校】
- 第4分科会 表現・遊び・ものづくり【小学校・中学校】

(3) 会場

北ブロック ⇒ 石狩市立花川南小学校

南ブロック ⇒ 北広島市立広葉中学校

(4) 運営体制

花川南小7名、広葉中7名の運営委員で運営します。

(5) レポートの扱い、部数、形式

分科会ごとに全部会員が実践レポートを作成します。同じ学校で、同じ分科会に所属する部員がいる場合、連名のレポートでも構いません。

・内容：研究3年目です。各分科会のキーワードをもとにしたレポートを作って下さい。

・形式：A4サイズ 1枚程度 様式は自由

穴をあけずに当日ご持参下さい。

・部数

	北ブロック	南ブロック
第1分科会	30部	20部
第2分科会	30部	60部
第3分科会	30部	30部
第4分科会	100部	100部

・レポート交流の前に各分科会会場で配布します。

(6) 司会、提言、記録者等

小グループ交流では、当日に司会者・記録者をお願いすることになります。積極的に参加していただけるとありがたいです。

4. その他

昨年度に引き続き、3年連続で研究に取り組んでいきます。研究キーワードを参考にしてレポートを作成してください。

今年度も2会場に分かれ、それぞれで講演会を行う予定です。その後、各分科会において小グループでのレポート交流を行います。連名でのレポートでも構いませんが、全員がレポートを発表できるように学校内での打ち合わせをしておいてください。
(文責 白倉 愛子)